

## 第2・3地区 地区別実践発表 検討会記録

次第	内容
1 開会	
2 発表者・運営役員紹介	各自で自己紹介を行う。
3 実践発表	<p>発表資料参照</p> <p>【発表概要】 14:35～15:10</p> <p>① <math>1/6 - 3/8</math> の例 通分の仕方を紹介する</p> <p>② たし算の筆算 1 を書く場所</p> <p>③ 引き算の筆算 繰り下がりの際、一の位が引けない「ので」をつけない。</p> <p>④ 小数の乗法の指導 比例を表す矢印と何倍かを書かせる。</p> <p>⑤ 小数の除法の指導 乗法と同じように1から考えて矢印を書く。矢印が逆になると、演算が加減と乗除で逆になる</p>
	<p>【休憩】 15:10～15:25 (発表者の希望により、休憩時間も発表をしました。)</p> <p>⑥ 単位量あたりの大きさ 分数の形式で数を示し平均を使って求める。小数の大小がわかりづらい児童がいるので、1と100のような極端な数を示す。</p>
4 質疑応答・協議	<p>■→質問 ▲→返答 ●→意見</p> <p>※初めは質問がなかったため、発表者が発表を続けました。</p> <p>【発表の続き】 15:27～</p> <p>① テンポをよくする。</p> <p>② 3度の繰り返し</p> <p>③ 大事なことはその場で覚えさせる。</p> <p>④ しているか、できているか、パッと点検する。</p> <p>⑤ ノート指導について</p> <p>※チャットにて質問をいただきました。</p> <p>■ 発表を聞き、理解が早い子から遅い子まで、幅広い子供たちを見通して指導をしているということが特に印象的でした。テンポよく淡々と進めると、理解と思考力をつけることのバランスをどのようにとっていますか？</p> <p>▲ 勘違いでもいいから自信をつけさせることが大事である。ちょっとしたことにも児童に赤鉛筆を持たせて「かしこい」「てんさい」ということをノートに書かせる。書くと、くすっと笑うようなこともある。間違えた場合でも、すばらしいと書く。教師や自分自身への褒め言葉を書かせる。ノートを見た親がびっくりするような「すげー」などの言葉使いを用いるこ</p>

	<p>とも有効である。</p> <p>思考力を育てることは大事である。教師でも解けないような問題を年に何度か解かせることがある。先生が教えたことをやって子供が簡単に解けるといいうが、簡単に解けることで悪いことはない。</p> <p>■ 授業の中ではわかっている、ちょっと応用的な問題だと崩れてしまいます児童が多いが、何が原因なのか聞かせていただきたい。</p> <p>▲ 子供の理解力のせいにしていないことがすごい。さっき紹介できなかった角度の学習でのことを紹介したい。三角の内角が40度と60度とも一つを考えさせる問題では、式は答えを出すためのものではないという指導が必要である。問題に取り組ませるはじめての一步ということを心がけるのが必要。40+60ができた場合、すごいと褒める。その後、3つの角を足すといくつかを聞くと180度であることを確認することで「残りは何？」と問うことになる。そして、わかってくる児童がいる。難しい問題でも同じことがいえる。条件が示されているところから、取り組ませることが大事。角度の単元テストでは裏表で平均150点を取った。勘違いじゃなくて実力で点数を取らせる。</p>
<p><b>5 指導助言</b></p>	<p>今日は、算数に対する信念、考え方を伝えていただけたような発表だった。印象に残った3つの言葉がある。「書く活動を入れる」、「授業の中で3度繰り返す」、「習熟を授業時間内にやる」の3つである。自分の授業を振り返るとなかなかできなかったように思うし、解き方を学ぶという意味で実際に効果があると思う。算数はできる、できないが明確である。できない児童にとっては苦痛の時間になる。できる子にとってはもっとやらせてほしいと飽きてしまう。先生の資料で算数は技能教科だと刺激的な言葉もある。先生の指導でなんかできちゃった、できるかもしれないということが入り口なのかもしれないと感じた。まだまだ様々な単元での指導のネタもあると思うが、見ている人も明日から使えるといったようなことがあったかもしれない。先生の思いが伝わったのではないかと思う。</p> <p>資料の中では必要ではないことをバツサリ辞めるといったことがあった。私としてはやったほうがよいのではないかと思うところもあったが、本当に必要なのかと考え直して授業に生かしていくことが必要だと思う。逆に5回読ませて時間を生み出すというような工夫をしていることなどに注目してみるとよいと思う。</p> <p>校内研究で算数を行っているようだが、学習方法と学習技術の融合ということを見てみたいという気持ちがある。これからの若い人に限らず、端末などを活用した授業に興味があるところである。</p> <p>わかる、できるという言葉があるが、車の運転に例えると、車の運転ができるというだけでは理解は深くはならない、エンジンがかからないバッテリーかというような知識を加えることで、知的好奇心を呼び起こすことができ</p>

	<p>る。するともっとこうしたいと思うようにさせられるのではないかと思う。</p> <p>先生のテクニックを真似したいと思うところもあった。先生方においても活用したいと思ったのではないか。なにか一つでもやってみようかなと思ってみることが大事。本日、発表ありがとうございました。</p> <p>発表者から</p> <p>教材研究として子供用のノートに実際に書くとよいと言ったが、去年5年生の実践があるので、PDFを送ることができる。割合の単元においても資料があるので、要望があれば是非お応えしたい。</p>
<p><b>6 御礼の言葉</b></p>	<p>自分自身も楽しいわかりやすい授業を心がけたい。全体での拍手をお願いしたい。</p>
<p><b>7 閉会</b></p>	